

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 近畿財務局長

【提出日】 2020年10月15日

【四半期会計期間】 第35期第2四半期(自 2020年6月1日 至 2020年8月31日)

【会社名】 株式会社ライフフーズ

【英訳名】 Life Foods Co.,Ltd.

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 大 平 毅

【本店の所在の場所】 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号

【電話番号】 06 - 6338 - 8331(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役
兼執行役員管理本部長 松 本 邦 泰

【最寄りの連絡場所】 大阪府吹田市江坂町一丁目13番41号

【電話番号】 06 - 6338 - 8331(代表)

【事務連絡者氏名】 常務取締役
兼執行役員管理本部長 松 本 邦 泰

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次		第34期 第2四半期累計期間	第35期 第2四半期累計期間	第34期
会計期間		自 2019年3月1日 至 2019年8月31日	自 2020年3月1日 至 2020年8月31日	自 2019年3月1日 至 2020年2月29日
売上高	(千円)	6,821,884	4,489,617	13,227,348
経常利益又は経常損失()	(千円)	149,210	754,102	139,581
四半期(当期)純利益 又は四半期純損失()	(千円)	99,752	885,443	7,831
持分法を適用した場合の 投資利益	(千円)			
資本金	(千円)	1,838,526	1,838,526	1,838,526
発行済株式総数	(株)	3,660,400	3,660,400	3,660,400
純資産額	(千円)	4,184,831	3,175,801	4,093,840
総資産額	(千円)	7,384,706	7,183,651	7,124,863
1株当たり四半期(当期)純利益 又は1株当たり四半期純損失 ()	(円)	32.59	289.18	2.56
潜在株式調整後1株当たり 四半期(当期)純利益	(円)			
1株当たり配当額	(円)			10.0
自己資本比率	(%)	56.7	44.2	57.5
営業活動による キャッシュ・フロー	(千円)	871,308	1,566,853	912,210
投資活動による キャッシュ・フロー	(千円)	361,140	1,033,357	192,034
財務活動による キャッシュ・フロー	(千円)	24,083	1,910,872	88,937
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高	(千円)	2,681,607	3,433,689	2,056,312

回次		第34期 第2四半期会計期間	第35期 第2四半期会計期間
会計期間		自 2019年6月1日 至 2019年8月31日	自 2020年6月1日 至 2020年8月31日
1株当たり四半期純利益又は1 株当たり四半期純損失()	(円)	16.64	157.64

(注) 1 当社は、四半期連結財務諸表を作成しておりませんので、連結会計年度に係る主要な経営指標等の推移については記載しておりません。また、持分法を適用した場合の投資利益については、関連会社が存在しないため記載しておりません。

2 売上高には、消費税等は含まれておりません。

3 第34期第2四半期累計期間及び第34期の潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

4 第35期第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期累計期間において、当社が営む事業の内容について、重要な変更はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2四半期累計期間において、新たに発生した事業等のリスクはありません。また、前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについても重要な変更はありません。

なお、新型コロナウイルスの感染拡大に伴う事業環境の変化が、当社の業績及び財政状態に重大な影響を及ぼす可能性があります。

2 【経営者による財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

文中の将来に関する事項は、当四半期会計期間の末日現在において判断したものであります。

財政状態及び経営成績の状況

(1) 経営成績の状況

当第2四半期累計期間におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響等により、4月に政府より緊急事態宣言が発令され、不要不急の外出や営業活動の自粛により経済活動が抑制され個人消費は大きく落ち込みました。5月に緊急事態宣言が解除されたものの外出自粛の継続により景気は急速に悪化しております。

外食産業におきましては、店舗においてソーシャルディスタンス（社会的距離）による客席数の減少や、営業時間の短縮、休業を余儀なくされるなど厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社は、売上高が急激に減少する中、新型コロナウイルスの感染症拡大防止に努めながら従業員の労働時間の短縮、役員報酬の減額、雇用調整助成金の取得、設備投資抑制による資産の圧縮、金融機関からの資金の調達など事業活動継続のための施策を実施してまいりました。

並行して、一汁三菜をコンセプトに旬の素材を使った定食業態「街かど屋」及びできたてメニューにこだわったカフェテリア業態「ざめしや」等の既存店舗の強化と不採算店舗の撤退を進めております。また、業態ごとに季節に応じた期間限定メニューを導入しております。「ざめしや」ではうなぎまぶしごはんや手延素麺揖保乃糸等を販売し、「街かど屋」では牛ロース焼肉定食や590円日替わりランチ等を販売し、「めしや食堂」ではざめしやのメニューでもある惣菜各種を販売し、各業態手作り弁当のテイクアウトを開始しました。「讃岐製麺」ではすだちおろしの牛肉ぶっかけうどん等を販売した他、麺類、丼メニューのテイクアウトを開始しました。

当第2四半期累計期間の店舗展開につきましては、閉店が8店舗となった結果、店舗数は119店舗となりました。

以上の結果、当第2四半期累計期間の業績は、売上高は4,489,617千円（前年同四半期比 34.2%減）、営業損失は779,591千円（前年同四半期は営業利益124,078千円）、経常損失は754,102千円（前年同四半期は経常利益149,210千円）、四半期純損失は885,443千円（前年同四半期は四半期純利益99,752千円）となりました。

(2) 財政状態の分析

(資産の部)

流動資産は、現金及び預金の増加等により4,379,707千円（前事業年度末は4,212,118千円）となりました。主な要因は、金融機関からの借入金の増加によるものであります。有形固定資産は、店舗設備の減損損失による特別損失の計上や減価償却が進んだことで1,198,791千円（前事業年度末は1,291,632千円）、投資その他の資産は、差入保証金の減少等により1,510,061千円（前事業年度末は1,519,416千円）となり、資産の部合計は、7,183,651千円（前事業年度末は7,124,863千円）となりました。

(負債の部)

流動負債は、買掛金の減少等により1,541,124千円（前事業年度末は2,135,612千円）となりました。固定負債は、長期借入金の増加等により2,466,725千円（前事業年度末は895,410千円）となり、負債の部合計は4,007,850千円（前事業年度末は3,031,022千円）となりました。

(純資産の部)

純資産の部合計は、利益剰余金の減少等により3,175,801千円（前事業年度末は4,093,840千円）となりました。これにより、当第2四半期会計期間末の自己資本比率は44.2%（前事業年度末は57.5%）となりました。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期累計期間における現金及び現金同等物の四半期末残高は前事業年度末に比べ1,377,376千円増加し、3,433,689千円となっております。

営業活動によるキャッシュ・フローは、主として売上高が急激に減少したことにより、税引前四半期純損失を887,491千円を計上したことや、前事業年度末日が金融機関の休日のため買掛金の支払いが翌月に繰り越されたことによる仕入債務の減少額が427,110千円あったこと等により1,566,853千円の支出（前年同四半期は871,308千円の収入）となっております。

投資活動によるキャッシュ・フローは、預入期間が3か月を超える定期預金の預入による支出200,000千円及び払戻による収入1,350,000千円、差入保証金の回収による収入18,332千円、店舗改装のための有形固定資産の取得による支出131,146千円があったこと等により、1,033,357千円の収入（前年同四半期は361,140千円の収入）となっております。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入れによる収入2,100,000千円、割賦取引に基づく資産売却代金の受入額の増加額52,301千円、長期借入金142,425千円及び割賦債務66,696千円の返済による支出等により、1,910,872千円の収入（前年同四半期は24,083千円の収入）となっております。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期累計期間において、当社の事業上及び財務上の対処すべき課題に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

(5) 研究開発活動

該当事項はありません。

(6) 経営成績に重要な影響を与える要因

当第2四半期累計期間において、当社の経営成績に重要な影響を与える要因に重要な変更及び新たに生じた課題はありません。

3 【経営上の重要な契約等】

当第2四半期会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	4,800,000
計	4,800,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (2020年8月31日)	提出日現在発行数(株) (2020年10月15日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	3,660,400	3,660,400	東京証券取引所 JASDAQ (スタンダード)	単元株式数100株
計	3,660,400	3,660,400		

(2) 【新株予約権等の状況】

【ストックオプション制度の内容】

該当事項はありません。

【その他の新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
2020年6月1日～ 2020年8月31日		3,660,400		1,838,526		1,537,526

(5) 【大株主の状況】

2020年8月31日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (株)	発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する 所有株式数の割合(%)
公益財団法人ライフスポーツ財団	大阪府吹田市江坂町1丁目23-43	600,000	18.41
清久商事株式会社	大阪市北区西天満1丁目11-20	524,800	16.10
清水 三夫	兵庫県西宮市	409,200	12.55
ライフフーズ従業員持株会	大阪府吹田市江坂町1丁目13-41	343,600	10.54
株式会社日本カストディ銀行(信託E口)	東京都中央区晴海1丁目8-12	197,600	6.06
麒麟麦酒株式会社	東京都中野区中野4丁目10-2	100,000	3.07
ケイ低温フーズ株式会社	兵庫県伊丹市北伊丹5丁目43-1	60,000	1.84
株式会社昭和	愛知県稲沢市福島町中之町80	60,000	1.84
株式会社紀陽銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	和歌山市本町1丁目-35 (東京都港区浜松町2丁目11-3)	40,000	1.23
株式会社神明ホールディングス	兵庫県神戸市中央区栄町通6丁目1-21	40,000	1.23
清水 京子	東京都世田谷区	40,000	1.23
清水 周一	東京都世田谷区	40,000	1.23
計	-	2,455,200	75.32

- (注) 1 当社は、従業員の新しい福利厚生サービスとして自社の株式を給付する「株式給付信託(J - E S O P)」を導入しており、本信託の受託者であるみずほ信託銀行株式会社から再信託を受けた株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が当社株式197,600株を所有しております。
- 2 上記の他、自己株式400,879株を所有しておりますが、上記の大株主からは除いております。

(6) 【議決権の状況】

【発行済株式】

2020年8月31日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	(自己保有株式) 普通株式 598,400	1,976	(注) 1
完全議決権株式(その他)	普通株式 3,061,600	30,616	
単元未満株式	普通株式 400		(注) 2
発行済株式総数	普通株式 3,660,400		
総株主の議決権		32,592	

(注) 1 当社所有の自己株式が400,800株及び株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式が197,600株含まれております。

2 「単元未満株式」の欄には、当社所有の自己株式79株が含まれております。

【自己株式等】

2020年8月31日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式総数 に対する所有 株式数の割合(%)
(自己保有株式) 株式会社ライフフーズ	大阪府吹田市江坂町 1丁目13-41	400,800	197,600	598,400	16.35
計		400,800	197,600	598,400	16.35

(注) 他人名義で所有している理由等

所有理由	名義人の氏名又は名称	名義人の住所
「株式給付信託(J-E S O P)」制度 の信託財産として拠出	株式会社日本カストディ銀行 (信託E口)	東京都中央区晴海1丁目8-12

2 【役員の状況】

該当事項はありません。

第4 【経理の状況】

1. 四半期財務諸表の作成方法について

当社の四半期財務諸表は、「四半期財務諸表等の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第63号)に基づいて作成しております。

2. 監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第2四半期累計期間(2020年3月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期財務諸表について、仰星監査法人による四半期レビューを受けております。

なお、当社の監査法人は次のとおり交代しております。

第34期事業年度 有限責任監査法人トーマツ

第35期第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間 仰星監査法人

3. 四半期連結財務諸表について

当社は子会社がありませんので、四半期連結財務諸表を作成しておりません。

1 【四半期財務諸表】

(1) 【四半期貸借対照表】

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,806,312	4,033,689
売掛金	24,672	22,653
商品	234	209
原材料及び貯蔵品	60,311	51,841
その他	320,586	271,312
流動資産合計	4,212,118	4,379,707
固定資産		
有形固定資産		
建物(純額)	1 1,113,420	1 1,043,156
その他	1 178,212	1 155,635
有形固定資産合計	1,291,632	1,198,791
無形固定資産	101,696	95,090
投資その他の資産		
差入保証金	841,965	816,357
繰延税金資産	367,280	389,249
その他	310,680	304,965
貸倒引当金	510	510
投資その他の資産合計	1,519,416	1,510,061
固定資産合計	2,912,744	2,803,944
資産合計	7,124,863	7,183,651
負債の部		
流動負債		
買掛金	731,045	303,934
1年内返済予定の長期借入金	72,902	470,588
未払法人税等	90,783	49,425
賞与引当金	112,519	8,310
その他	1,128,361	708,865
流動負債合計	2,135,612	1,541,124
固定負債		
長期借入金	72,269	1,632,158
長期預り保証金	50,555	45,597
退職給付引当金	527,439	550,927
役員退職慰労引当金	50,848	52,947
その他	194,297	185,094
固定負債合計	895,410	2,466,725
負債合計	3,031,022	4,007,850

(単位：千円)

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,838,526	1,838,526
資本剰余金	1,537,526	1,537,526
利益剰余金	872,081	45,958
自己株式	154,293	154,293
株主資本合計	4,093,840	3,175,801
純資産合計	4,093,840	3,175,801
負債純資産合計	7,124,863	7,183,651

(2) 【四半期損益計算書】

【第2四半期累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
売上高	1 6,821,884	1 4,489,617
売上原価	2,206,608	1,480,652
売上総利益	4,615,276	3,008,965
販売費及び一般管理費	2 4,491,197	2 3,788,556
営業利益又は営業損失()	124,078	779,591
営業外収益		
受取利息	1,769	2,054
有価証券利息	788	788
受取家賃	55,057	47,881
その他	25,920	26,881
営業外収益合計	83,535	77,605
営業外費用		
支払利息	1,244	3,664
賃貸収入原価	52,182	45,652
その他	4,976	2,799
営業外費用合計	58,403	52,117
経常利益又は経常損失()	149,210	754,102
特別利益		
固定資産売却益	-	6,363
受取補償金	37,500	2,000
助成金収入	-	56,388
特別利益合計	37,500	64,752
特別損失		
有形固定資産除却損	6,146	16,553
減損損失	9,763	79,595
店舗閉鎖損失	-	25,463
店舗臨時休業等による損失	-	3 64,779
その他	-	11,750
特別損失合計	15,910	198,141
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失()	170,800	887,491
法人税等	71,047	2,047
四半期純利益又は四半期純損失()	99,752	885,443

(3) 【四半期キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年3月1日 至2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自2020年3月1日 至2020年8月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益又は税引前四半期純損失 ()	170,800	887,491
減価償却費	84,775	87,880
減損損失	9,763	79,595
転貸損失引当金の増減額(は減少)	498	-
賞与引当金の増減額(は減少)	2,775	104,209
退職給付引当金の増減額(は減少)	16,273	23,488
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	2,199	2,098
受取利息及び受取配当金	2,557	2,842
受取補償金	37,500	2,000
支払利息	1,244	3,664
有形固定資産売却損益(は益)	-	6,363
有形固定資産除却損	6,146	16,553
たな卸資産の増減額(は増加)	4,443	8,495
仕入債務の増減額(は減少)	492,539	427,110
売上債権の増減額(は増加)	10,764	2,018
未払消費税等の増減額(は減少)	1,826	145,189
その他の資産の増減額(は増加)	16,224	54,450
その他の負債の増減額(は減少)	149,225	238,533
その他	12,413	15,722
小計	901,242	1,519,773
利息及び配当金の受取額	2,015	2,375
利息の支払額	1,249	4,651
法人税等の支払額	30,700	44,804
営業活動によるキャッシュ・フロー	871,308	1,566,853
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	1,650,000	200,000
定期預金の払戻による収入	2,050,000	1,350,000
有形固定資産の取得による支出	63,548	131,146
有形固定資産の売却による収入	-	6,363
無形固定資産の取得による支出	-	5,739
差入保証金の差入による支出	18,527	516
差入保証金の回収による収入	37,126	18,332
貸付けによる支出	-	4,400
貸付金の回収による収入	6,089	6,392
その他	-	5,930
投資活動によるキャッシュ・フロー	361,140	1,033,357

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	100,000	2,100,000
長期借入金の返済による支出	60,705	142,425
セール・アンド・割賦バック取引に基づく資産 売却代金の受入額	87,236	52,301
割賦債務の返済による支出	69,973	66,696
配当金の支払額	32,474	32,306
財務活動によるキャッシュ・フロー	24,083	1,910,872
現金及び現金同等物の増減額（は減少）	1,256,532	1,377,376
現金及び現金同等物の期首残高	1,425,075	2,056,312
現金及び現金同等物の四半期末残高	1 2,681,607	1 3,433,689

【注記事項】

(追加情報)

新型コロナウイルス感染症の拡大を受けて、来店客数の減少や営業時間の短縮により売上が減少しておりましたが、緊急事態宣言解除後は、一定の回復が見られております。このような状況のなか、第1四半期累計期間においては、その後も引続き来店客数は徐々に回復し、当事業年度下期には、感染拡大前の水準まで回復するとの前提で、各種の会計上の見積りを行ってまいりました。

しかし、第2四半期累計期間の実績が確定し、これらを踏まえて新型コロナウイルス感染症拡大の影響について再検討を行った結果、本格的な回復は、2023年2月期以降となるとの見直しを行いました。

このため、固定資産の減損会計及び繰延税金資産の回収可能性の会計上の見積りについては、上記仮定を前提に必要な見直しを行っております。

なお、この仮定は不確実性が高く、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響が今後長期化した場合や深刻化した場合には、将来において損失が発生する可能性があります。

(四半期貸借対照表関係)

1 有形固定資産に係る国庫補助金の受入れによる圧縮記帳累計額

	前事業年度 (2020年2月29日)	当第2四半期会計期間 (2020年8月31日)
建物	30,022千円	30,022千円
その他	5,067千円	5,067千円

(四半期損益計算書関係)

1 当社の売上高は、連休や夏休みなど休日が増えることにより、第3及び第4四半期会計期間に比べ高くなる季節的変動があり、営業利益以下においても第1及び第2四半期会計期間に偏る傾向があります。

2 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は次のとおりであります。

	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
給与手当	521,729千円	513,246千円
賃金	1,594,515 "	1,219,010 "
賞与引当金繰入額	102,929 "	8,310 "
退職給付費用	53,188 "	51,283 "
役員退職慰労引当金繰入額	2,199 "	2,098 "
賃借料	791,219 "	726,720 "

3 店舗臨時休業等による損失

新型コロナウイルス感染症に対する政府、自治体からの各種要請等を踏まえ、一部の店舗で臨時休業を行っております。店舗の臨時休業期間中に発生した固定費（人件費・地代家賃等）及び特定の有給休暇に係る人件費を店舗臨時休業等による損失として、特別損失に計上しております。

(四半期キャッシュ・フロー計算書関係)

- 1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第 2 四半期累計期間 (自 2019年 3月 1日 至 2019年 8月 31日)	当第 2 四半期累計期間 (自 2020年 3月 1日 至 2020年 8月 31日)
現金及び預金	4,031,607千円	4,033,689千円
預入期間が 3 か月を超える 定期預金	1,350,000 "	600,000 "
現金及び現金同等物	2,681,607千円	3,433,689千円

(株主資本等関係)

前第 2 四半期累計期間(自 2019年 3月 1日 至 2019年 8月 31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2019年 5月 23日 定時株主総会	普通株式	32,595	10.00	2019年 2月 28日	2019年 5月 24日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式給付信託(J-E S O P)制度に基づく株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する自社の株式に対する配当金1,988千円が含まれております。

2. 基準日が当第 2 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

当第 2 四半期累計期間(自 2020年 3月 1日 至 2020年 8月 31日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
2020年 5月 28日 定時株主総会	普通株式	32,595	10.00	2020年 2月 29日	2020年 5月 29日	利益剰余金

(注) 配当金の総額には、株式給付信託(J-E S O P)制度に基づく株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が保有する自社の株式に対する配当金1,976千円が含まれております。

2. 基準日が当第 2 四半期累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第 2 四半期会計期間の末日後となるもの
該当事項はありません。

(金融商品関係)

長期借入金は、会社の事業の運営において重要なものとなっており、かつ、四半期貸借対照表計上額に前事業年度の末日と比較して著しい変動が認められますが、当第 2 四半期貸借対照表計上額と時価との差額及び前事業年度に係る貸借対照表計上額と時価との差額に重要性が乏しいため、記載を省略しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

当社は、外食事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失及び算定上の基礎は、以下のとおりであります。

項目	前第2四半期累計期間 (自 2019年3月1日 至 2019年8月31日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年3月1日 至 2020年8月31日)
1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失 ()	32円59銭	289円18銭
(算定上の基礎)		
四半期純利益又は四半期純損失()(千円)	99,752	885,443
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益又は四半期純損失() (千円)	99,752	885,443
普通株式の期中平均株式数(千株)	3,060	3,061

- (注) 1 前第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。当第2四半期累計期間の潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、1株当たり四半期純損失であり、また、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 1株当たり四半期純利益又は1株当たり四半期純損失を算定するための普通株式の期中平均自己株式数について、その計算において控除する自己株式に株式会社日本カストディ銀行(信託E口)が所有する当社株式を含めております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

2020年10月7日

株式会社ライフフーズ
取締役会 御中

仰星監査法人

指定社員
業務執行社員 公認会計士 寺 本 悟 印

指定社員
業務執行社員 公認会計士 西 田 直 樹 印

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられている株式会社ライフフーズの2020年3月1日から2021年2月28日までの第35期事業年度の第2四半期会計期間(2020年6月1日から2020年8月31日まで)及び第2四半期累計期間(2020年3月1日から2020年8月31日まで)に係る四半期財務諸表、すなわち、四半期貸借対照表、四半期損益計算書、四半期キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して四半期財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期財務諸表の作成基準に準拠して、株式会社ライフフーズの2020年8月31日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

その他の事項

会社の2020年2月29日をもって終了した前事業年度の第2四半期会計期間及び第2四半期累計期間に係る四半期財務諸表並びに前事業年度の財務諸表は、それぞれ、前任監査人によって四半期レビュー及び監査が実施されている。前任監査人は、当該四半期財務諸表に対して2019年10月11日付けで無限定の結論を表明しており、また、当該財務諸表に対して2020年5月20日付けで無限定適正意見を表明している。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以 上

(注) 1. 上記は四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。

2. XBRLデータは四半期レビューの対象には含まれていません。